



Event Monitoring robots

UiPath株式会社

プロダクトソリューション本部

Jake Nguyen

1. デモシナリオの紹介

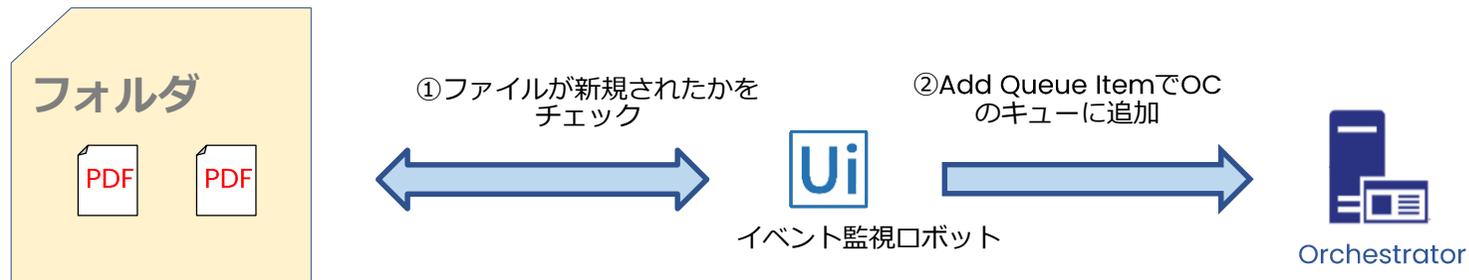
2. デモ

3. 活用できるユースケースの例



ファイルウォッチャーロボット

→ フォルダにファイルの変更イベント（新規追加・編集・削除等）を監視するロボットです。

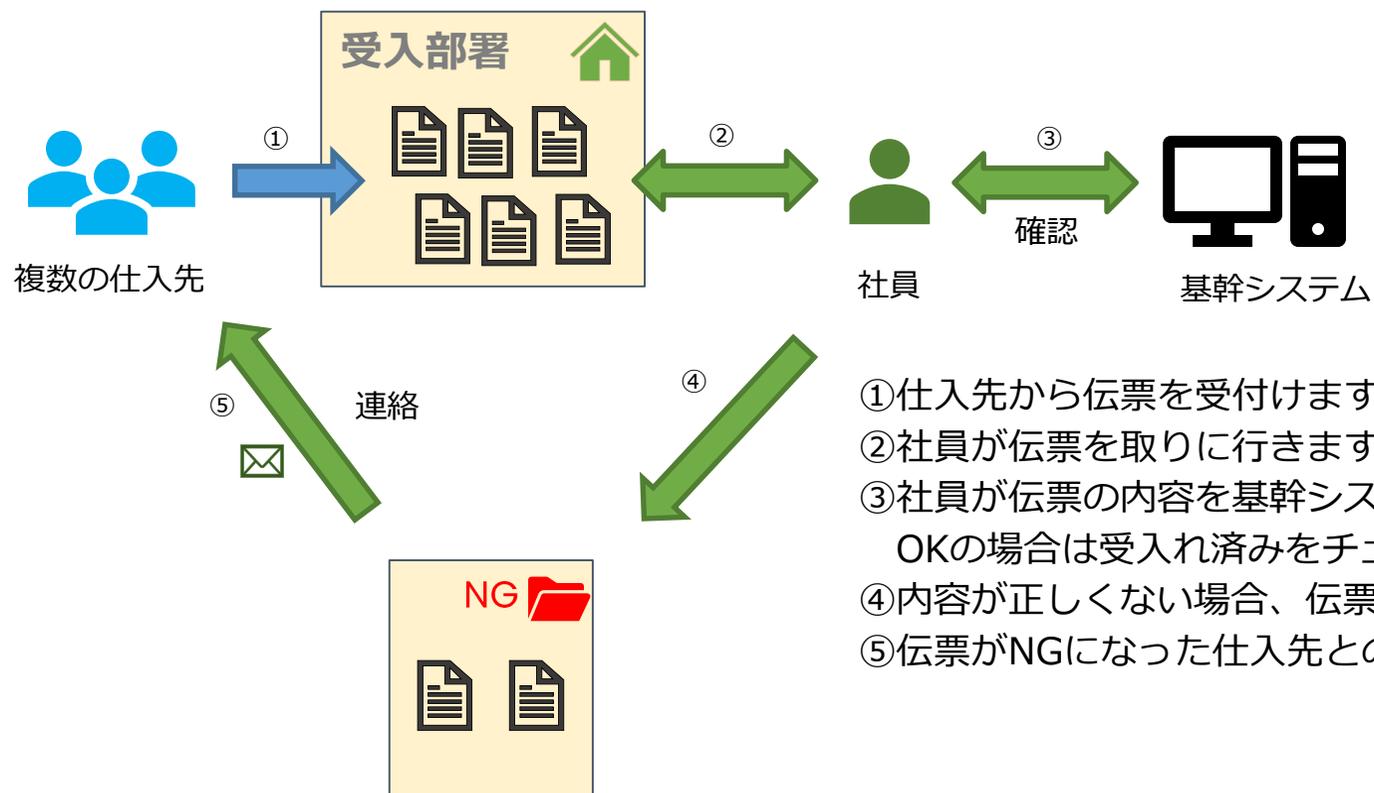




いよいよデモ1です！

RPA導入前

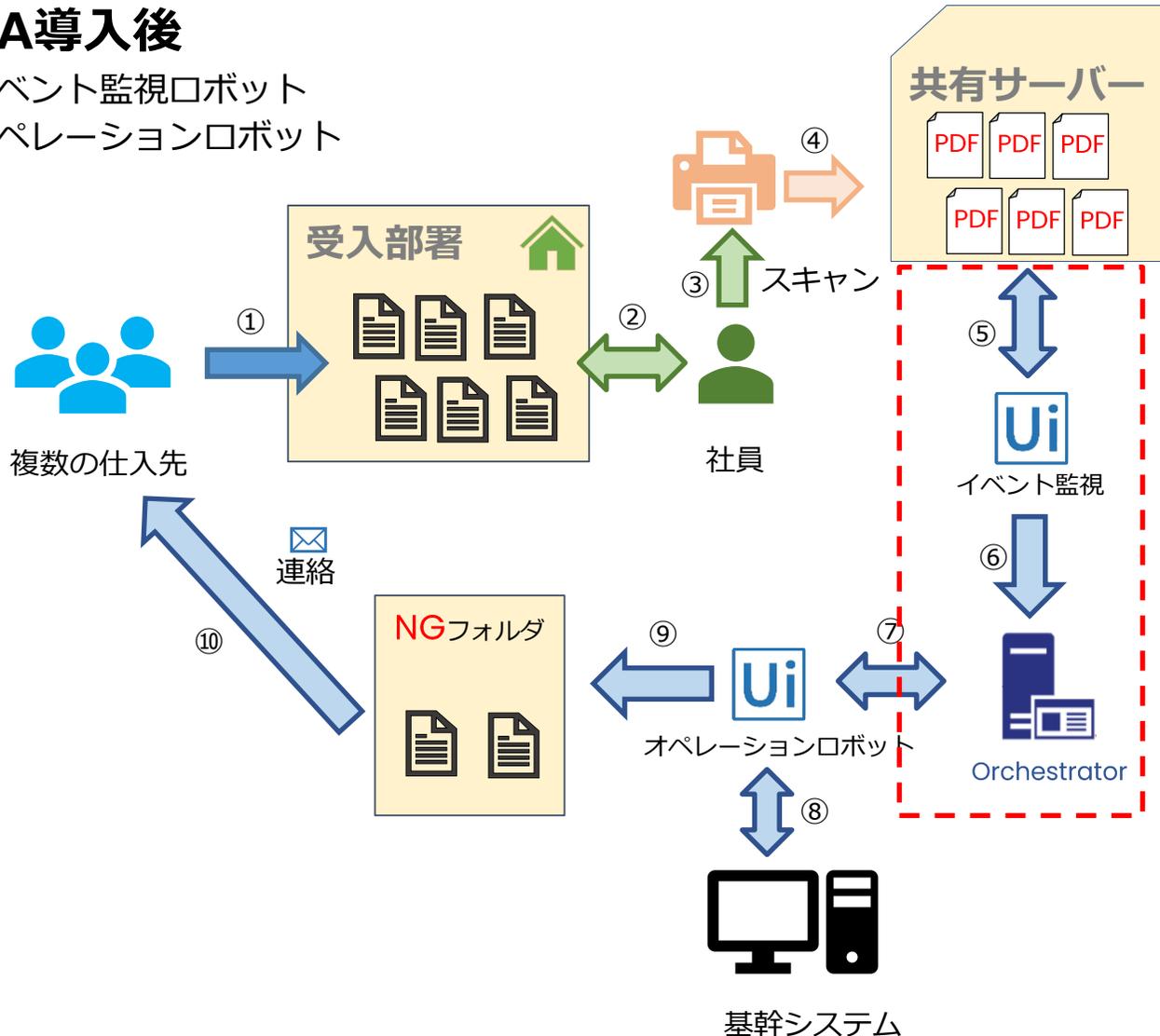
- ・毎日各仕入先から非常に大量な伝票が納入されます。
- ・伝票内容のダブルチェックが必要です。
- ・社内システムにて受入済みの入力/ NG伝票の内容確認を行い、仕入先と調整作業が発生します。



- ① 仕入先から伝票を受付けます。
- ② 社員が伝票を取りに行きます。
- ③ 社員が伝票の内容を基幹システムと比較します。
OKの場合は受入れ済みをチェックします。
- ④ 内容が正しくない場合、伝票はNGとなります。
- ⑤ 伝票がNGになった仕入先との連絡を行います。

RPA導入後

- ・ イベント監視ロボット
- ・ オペレーションロボット



- ①仕入先から伝票を受付けます。
- ②社員が伝票を取りに行きます。
- ③社員が伝票をスキャンします。
- ④伝票PDFファイルが生成されます。
- ⑤イベント監視ロボットがOCRで生成されたPDFファイルの内容を読み込みます。
- ⑥読込んだ伝票内容をキューに送付します。
- ⑦オペレーションロボットがキューから伝票内容を読み込みます。
- ⑧読込んだ内容を基幹システムで確認します。
- ⑨内容が正しくない場合、伝票はNGとなります。
- ⑩伝票がNGになった仕入先にメールします。

メールウォッチャーロボット

→ Outlookのメールボックスから新規メールの到着を監視するロボットです。

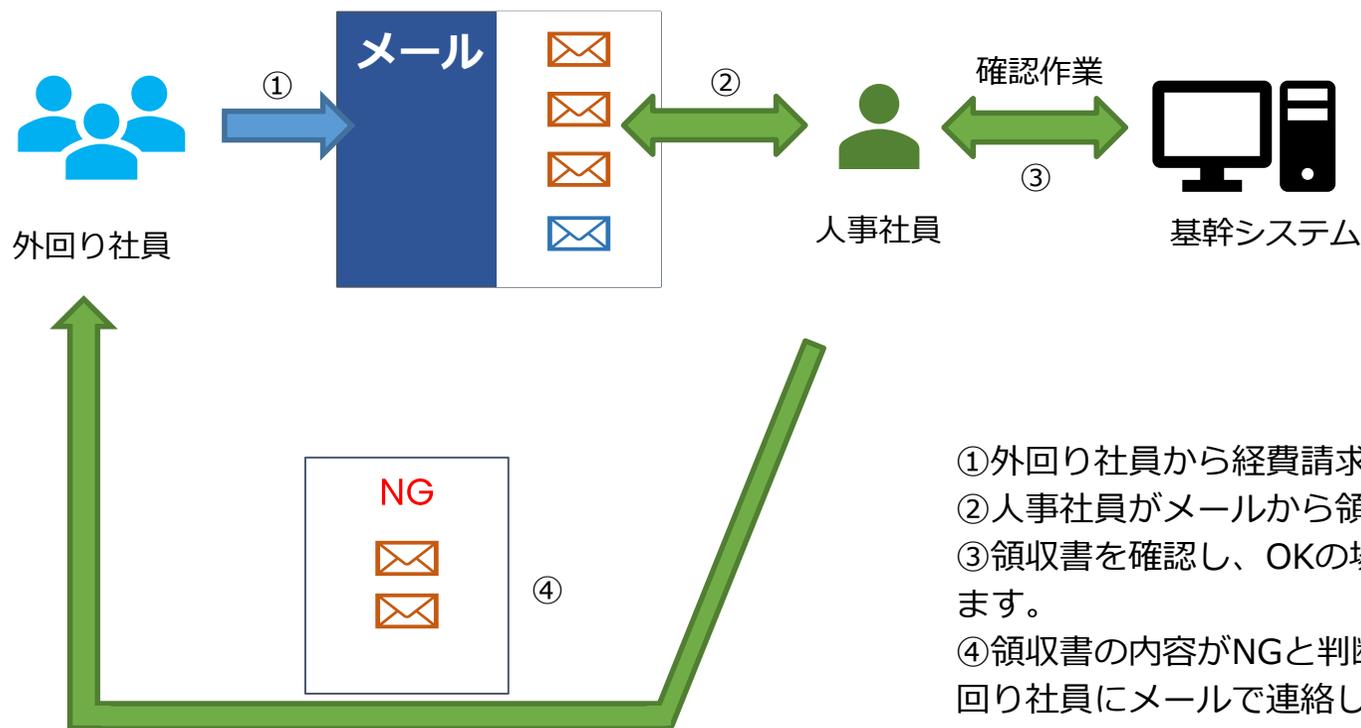




いよいよデモ2です！

RPAの導入前

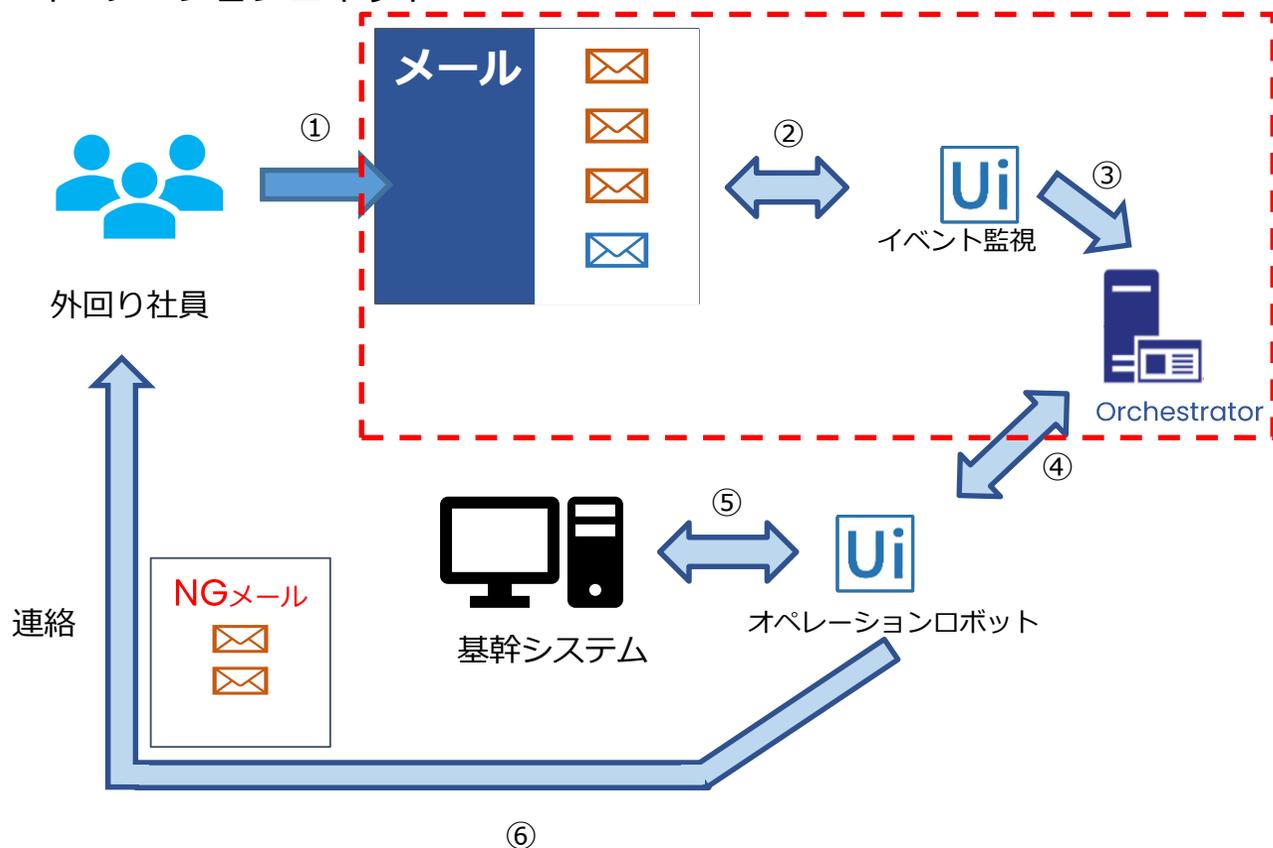
- ・毎日外回り社員が出張時に費用が発生しています。費用の領収書はメールにて人事の社員に送信します。
- ・人事社員はメールを確認し、OKの場合は社内システムに入力します。
- ・NGの場合は人事社員が外回り社員と連絡します。



- ①外回り社員から経費請求のメールが届きます。
- ②人事社員がメールから領収書をダウンロードします。
- ③領収書を確認し、OKの場合は基幹システムに入力します。
- ④領収書の内容がNGと判断された場合、人事社員が外回り社員にメールで連絡します。

RPA導入後

- ・ イベント監視ロボット
- ・ オペレーションロボット



- ① 外回り社員から経費精算のメールが届きます。
- ② イベント監視ロボットがOCR機能を使い、添付された領収書からデータを読み込みます。
- ③ 読込んだデータをキューに送付します。
- ④ オペレーションロボットがキューから領収書データを読み込みます。
- ⑤ 読込んだデータが定義されたチェックロジックに従い、OKと判断された場合は基幹システムに入力します。
- ⑥ NGと判断された場合、外回り社員にNGメールが送信されます。



Thank you very much!